

質問 広報ひがしくるめリニューアルについて、①紙面構成、②広告収入は。

答弁 4年1月7日号から全面カラーとなる。文字の拡大なども検討する予定。②2年度は11号・22枠ある中で、全ての枠が埋まった。3年度は14号・28枠になり、112万円の収入を見込んでいる。22枠分の募集は全て埋まっており、予算が認められれば、増加の6枠分について募集したい。

質問 都市計画道路東3・4・13号線および東3・4・21号線の建設に係る予算の財源内訳は。

答弁 予算額11億5,223万1千円の財源内訳は、国庫支出金4億5,000万円、都支出金2億2,550万円、都市計画事業基金繰入金2,747万7千円、一般財源4億4,925万4千円。一般財源分については、当該事業が事業認可を取得していることから、都市計画税充当事業となっている。

質問 新型コロナウイルスの抗原検査キットを医療救護所に備蓄することについて伺う。

答弁 東久留米市医師会と協議して、昨年の台風シーズンに備え準備した同キットが、消費期限の半年を経過して使えないため、10テスト分を一つの供給単位として用意することを考えている。

質問 施設整備プログラムは、主に財政的な理由で毎年のようにローリングされているが見解を伺う。

答弁 各年度の予算編成上、その時々の実態に合わせローリングが必要となった際、当該年度分の工事を先送りするだけでなく、変更前の施設整備プログラムを吟味しながら、費用の平準化や建物の修繕優先度合いの変化等を勘案しながら、必要なものは優先して残すなど、後年度の影響が抑制されるよう行っている。

質問 都市農地保全支援事業について、①3年度は新たな活用項目があるのか、②同事業と都市農業振興施設整備事業の重複申請は可能か。

答弁 ①2年度と同様の支援内容で、農業者からの支援希望を踏まえた予算要求となっている。②都市農地保全支援事業は、都市農地の保全を目的とし、農地の多面的機能を一層発揮させるための施設整備や農地保全の理解促進に向けた取り組みなどを支援するもので、都市農業振興施設整備事業は、農業者の稼ぐ力に結びつくための施設整備事業。同じ農業者が両事業を申請することは可能。

質問 骨髄移植ドナー支援事業について、①2年度の実績は、②申請の方法は。

答弁 ①ドナー1名、14万円の支給があった。②申請に当たり、医療機関でドナー移植の措置を受けたという証明に当たる書類、事前検査からの処置実績が分かる書類を添えて申請書を提出する。

令和3年度予算の主な継続・拡大事業

事業名	予算額
公共施設マネジメントの推進	12億6,234万円
広報紙「広報ひがしくるめ」リニューアル	1,049万8千円
図書館管理運営事業	2億5,033万4千円
都市農地保全支援事業	2,213万1千円
都市計画道路東3・4・13号線及び東3・4・21号線整備事業	11億5,223万1千円
道路舗装補修等事業	2億4,228万6千円
住居確保給付金事業	3,978万4千円
骨髄移植ドナー支援事業	42万円
私立保育園保育運営費（管内）	25億7,656万7千円
下里中学校南校舎棟他大規模改造事業	7億3,010万5千円
出産子育て応援品（母子健康手帳交付事業）	416万6千円
新型コロナウイルス感染症対策費	3,076万4千円
在宅要介護者の受入体制整備事業	1,999万円

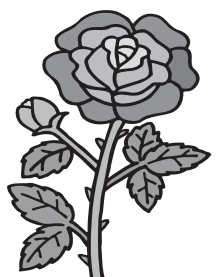
久留米ハートネット

無策並木市長の絶望予算に反対！

一般会計総額48億円。前年度と比べ10億円増加。コロナ対策があるものの、明らかにそれ以上に増加。並木市長就任後、一般会計の総額は64億円も増加。ここまで増加したのは、歳出削減を伴う厳しい改革に取り組まなかったから。職員の定員適正化計画も作らない。保育園民営化もやめた。今回、臨時財政対策債と財政

調整基金、合わせて13億円がなければ予算は組めなかった。これ以上の歳出増加は無理。だから絶望予算と言っている。これからは、何をやるのかを議論しなければいけない。どれだけの議員と職員が危機感を持っているのか。少なくとも並木市長から危機感を感じられない。2期目4年間で何か改革したのかと質問したが、具体的な答弁はなかった。たとえ絶望予算であっても私は絶対にあきらめない。なぜなら東久留米市はここが終わりではないから。

調整基金、合わせて13億円がなければ予算は組めなかった。これ以上の歳出増加は無理。だから絶望予算と言っている。これからは、何をやるのかを議論しなければいけない。どれだけの議員と職員が危機感を持っているのか。少なくとも並木市長から危機感を感じられない。2期目4年間で何か改革したのかと質問したが、具体的な答弁はなかった。たとえ絶望予算であっても私は絶対にあきらめない。なぜなら東久留米市はここが終わりではないから。



市民つどい研究会

将来像を示し持続可能な市政運営を

市長2期目の最後の予算編成であるが、市長が何を目標としているのか大変分かりづらいものとなったことは残念だった。

黒目川源流域の緑地購入は、市長の考えを読み取れる施策で評価できる。

市庁舎の非常用電源の整備、再生可能エネルギーの活用とVPP構築・運用は、補助金もあることから進め

ていくことを評価する。

学園町に株式会社が設置・運営する新たな保育園が開設される。建設中に近隣の住民の合意が完全に取れていない部分も発生し、待機児童解消を民間に全て任せてよいのか、本当に有益であると言えるのか、いまだ一度検証すべきである。

指導員が集まらないなど課題があり、学童保育所の業務委託を増やすための予算が計上されているが、利用者にとってよいサービスであることが重要であり、反対するものではない。



これまでの課題に手が付けられず、解消されていないが、全体的には堅実に強い予算だと考える。

市長が行いたいことを整理し、示してもらいたかったと申し述べ、一般会計予算案に賛成する。

3特別会計予算案、下水道事業会計予算案には意見を付すことなく賛成する。

エコーチェン

希望が持てる予算と
なることを求める

令和3年度東久留米市一般会計予算案、令和3年度東久留米市国民健康保険特別会計予算案、令和3年度東久留米市後期高齢者医療特別会計予算案、令和3年度東久留米市介護保険特別会計予算案、令和3年度東久留米市下水道事業会計予算案について、すべて賛成の立場から意見を申し述べる。

先日、近隣の県で県知事選挙、その主要都市で市長選挙が行われた。私が注目したのは、選挙後にインターネット上にアップされたコメントのうち多くの支持があったコメントで、その内容は、新型コロナウイルス感染症の対応策ではなく、これからの暮らしに希望が持てる事業や政策を求めるというものであった。まさに、市長が提示した本年の「一文字、一希（のぞみ）」のことだと思う。もちろん、新型コロナウイルス感染症を収束させるための対応策



は必要であり、それができた上でのゼロからのスタートになるのだと思う。

私は、市民から選ばれた市長に期待をしている。市民の皆さんが東久留米市に住んでいてよかったと思えるような事業を今以上に考え、実行してもらいたいということを切に要望して、私の意見とさせていただきます。

本会議・予算特別委員会の様子を見ませんか

本会議・予算特別委員会の録画映像はパソコン、スマートフォン、タブレット端末で視聴できます。

東久留米市議会 映像配信 で 検索 し、ぜひご覧ください。



市議会映像配信
QRコード

令和3年度予算案に対する各会派の意見表明・賛否討論を見るには？

【検索方法】

東久留米市ホームページ▶市議会▶映像配信▶会議名で検索
▶令和3年第1回定例会▶本会議（第7日）▶再生

予算案には特に意見を付すことなく賛成する。